

和歌山工業高等学校(全)

実施日時	2019年 8月 1日(木)
参加者	生徒400名、教職員32名、計432名
実施内容	講演会、地震体験、災害伝言ダイヤル・AED、ロープワーク体験等

ねらい 防災意識の向上

主なプログラム、概要

事前の取り組み(7月上旬)

全クラスに「3.11岩手大津波の記録」(釜石の奇跡)DVDを鑑賞させ、避難訓練の重要性を伝える。

8月1日日程

8:45～ 8:50	【各ホームルーム教室】SHR			
9:00～ 10:00	【体育館】 講演「私の311」 奈良県立生駒高校 講師 阿部 ひかり氏			
	A甲・A乙・J	E甲・E乙	F甲・F乙	G・K・L
10:15～ 10:45	【正門駐車場】 地震体験 【本館2F】 免震層見学	【大会議室】 伝言ダイヤル171 操作方法講習 (NTT和歌山支店)	【電気科1F第2電気計測室】 ロープワーク体験 (自衛隊)	【多目的ホール】 救急AED使用方法 (DVD)
11:00～ 11:30	【多目的ホール】 救急AED使用方法 (DVD)	【電気科1F第2電気計測室】 ロープワーク体験 (自衛隊)	【大会議室】 伝言ダイヤル171 操作方法講習 (NTT和歌山支店)	【正門駐車場】 地震体験 【本館2F】 免震層見学
11:35～ 11:50	【各ホームルーム教室】アンケート			

参加者感想文

「3.11 岩手大津波の記録」(事前学習)感想文

- 毎年行われている防災訓練は、本当に大事なことと改めて感じた。実際に災害が起こったときは自分のできることをしっかり落ち着いてしようと思った。
- 自分も釜石の子供たちのように、自分や身近な人を逃げられるようにしたいと思いました。
- 大地震が起きたときは、自分が想定しているよりも大きな被害がくるかもしれないから、いつでも最善な対処、避難ができるようにしたいと思いました。
- 私たちは、防災訓練をしっかりと真剣に取り組むことが、助かる方法だと思った。

防災スクール当日感想文

- 災害はとてつもない恐ろしいものとおおざっぱに捉えていたけど、被験者から具体的な話を直接聞いてリアルな怖さが伝わってきた。災害にはとっさの対応が必要と感じた。
- 日頃から災害に備えて準備しておくことが大事だと思った。ロープワークや伝言ダイヤル171などをこれから近い内に起きると言われている南海トラフ地震の時に活かせればと思った。
- 阿部先生の講演を聞いて、災害の怖さがよく分かった。もっと家族と話し合っ、どこで集まるのか、どこへ逃げるのかなど決めておかなければと思いました。

成果と課題

全1年生を対象に防災意識を高めてもらうため、7月上旬に「3.11岩手大津波の記録」(釜石の奇跡)をクラス単位で個別に鑑賞しました。この事前学習により、避難訓練を真剣に取り組むことや想定にとらわれない判断など、防災に対する意識が高くなったと感想文から推察されました。

防災スクール当日のはじめは、奈良県立生駒高校 阿部 ひかり氏による講演が行われました。自然災害の怖さや災害が起きたときの正しい判断が重要であることを分かり易く伝えて頂きました。その後、4カ所のブースに分かれて様々な災害に関わる体験を行いました。どの生徒も積極的な姿勢で取り組んでおり、最後のアンケートの感想文には「知らないことを知ることが出来た」・「防災に対して意識が変わった」との感想が書かれていました。防災に対する意識を高めることが出来たと思っています。今後は、避難訓練や防災教育の回数を可能な限り増やし、防災スクールで高まった意識を継続、そして家族・友人など色々な人に伝達していけるようにすることが課題であると考えています。



講演「私の311」

奈良県立生駒高校 講師 阿部ひかり氏



講習「NTT 伝言ダイヤル171」

NTT和歌山支社



地震体験車



救急 AED 使用方法



ロープワーク体験